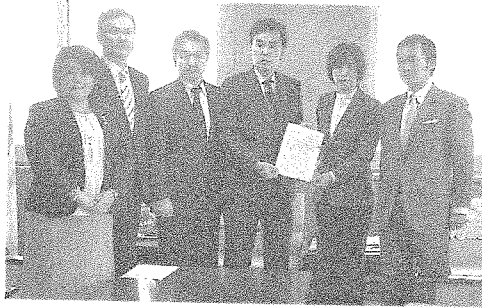


石原伸晃環境相（右から3人目）に要望書を手渡す県関係の自民党国会議員



がれき撤去支援 環境相に要望書

県関係の自民党国会議員

堀内詔子衆院議員ら県関係の自民党国会議員5人が28日、環境省を訪問し、石

原伸晃環境相に対して、大雪で発生したがれきの撤去支援を要望した。災害廃棄物として処理することで、撤去費用に対する国の補助率が上がり、自治体の負担が軽減される。石原環境相は「雪による被害で適用した例は無いが、良い方法を検討したい」と応じた。

堀内衆院議員らは、倒壊したビニールハウスなどの撤去について、災害廃棄物処理事業の適用を求め

た。適用されれば、市町村が実施するがれき処理に対する国の補助率が9割以上にかさ上げされる。要望によると、倒壊したハウスの撤去について適用される農林水産省の補助金では、国負担は3割程度にとどまるといふ。

石原環境相は、来週にも省職員を現地に派遣し、検討する意向を示した。